

2014年10月27日

プレスリリース
報道関係者各位

合同会社土曜社

日本のアナキスト、大杉栄の絶筆『日本脱出記』英語版を刊行

合同会社土曜社（東京・渋谷）は11月、大杉栄の絶筆『日本脱出記』英語版を刊行する運びになりました。宮崎県在住の翻訳家、マイケル・シャワティエ氏の翻訳です。

原書は、関東大震災直後の1923年10月にアルス社が刊行し、その後は岩波文庫で読みつがれてきました。今回の翻訳は、2011年の土曜社版を底本としました。

大杉栄は、東京外国語学校（現・東京外語大）に学び、「一犯一語」とうそぶきながら獄中で各国語を独習し、ダーウィン『種の起原』、フェアブル『昆虫記』、クロボトキン『相互扶助論』の翻訳を手がけるなど語学の達人でした。

大杉自身の著作は、『自叙伝』が1992年に英訳され、カリフォルニア大学出版局から出ていますので、英文への翻訳は『日本脱出記』が2冊目となります。

出版は弊社が行い、流通は米流通大手イングラム社 *Ingram Content Group* が担当します。

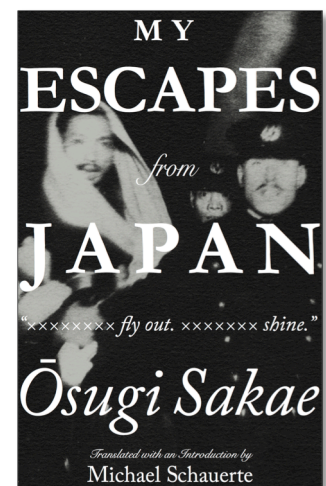
本書が描く日本国内のアナ・ボル論争のいきさつ、魔都上海での大韓民国臨時政府や中国共産党創始者との交渉、ロシア革命をうけたコミンテルンの介入、国際アナキスト大会にむけた中国人同志との連帯、レザネフォル（狂乱の時代）の1923年パリに遊んだ日本人の視点など、内外の読者の興味をひくものと思われま

以上

書名：My Escapes from Japan
著者：Ōsugi Sakae
訳者：Michael Schauerte 〈マイケル・シャワティエ〉
解説：Ōsugi Yutaka
底本：大杉栄著『日本脱出記』（大杉豊解説、土曜社、2011年）
訳者略歴：

Michael Schauerte 〈マイケル・シャワティエ〉翻訳家、ライター。1969年イリノイ州ピオリア市に生まれる。1991年に米ケニオン大学を卒業。1995年に来日し、2001年に一橋大学文学修士号。2013年『大杉栄と仲間たち』（ばる出版）に「詩人としての大杉栄」を執筆。英誌 *Socialist Standard* の常連寄稿者。妻と2人の娘と宮崎県在住。

四六変型判・188頁 2014年11月10日発売予定
ISBN978-4-907511-14-2 本体2300円



2014年11月2日（日）出版記念会@代官山M 詳細は弊社ウェブサイトで
記念会にあわせ、訳者のシャワティエ氏が上京します
取材などご検討いただければ幸いです

取材、見本・画像データのご用命は、下記担当者が承ります。

合同会社土曜社 | 150-0033 東京都渋谷区猿楽町 11-20-305 | www.doyosha.com
豊田剛 | tsuyoshi.toyota@doyosha.com | t. 050-3633-1367 | f. 03-6369-3339